

謙遜

BASE Is Biblical And Solid Essentials

HUMILITY

Introduction

序論



謙遜は、 神から与えられる諸徳が 根ざす唯一の土壌である。 謙遜の欠如こそ、 すべての欠陥と失敗を説明して 余りあるものである。 謙遜は、他の諸徳と 同水準のものではない。 神から与えられる すべての徳の根源である。



なぜなら、謙遜のみが、 神の御前に正しい態度を とらせるのであり、 神のすべてのみこころが なされることを 受け入れるものだからである。

クリスチャンの 成長の土台である 謙遜

謙遜なき所に 争いがある

主に似せられる 成長をする者と なりたい

主から学ぶ謙遜の特徴 謙遜がないとどうなるか 主を学び謙遜にされた例

Chapter 1

主に学ぶ謙遜の特徴

Section 1-1

模範であるキリスト

わたしは心が柔和で へりだっているから、 あなたがたも わたしのくざを負い。 わたしから学びなさい。 そうすれば、 たましいに安らぎを得ます。





キリスト・イエスの うちにあるこの思いを、 あなたがたの間でも抱きなさい。 Section 1-2

謙遜の特徴一つ目

何事も 利己的な思いや虚栄から するのではなく、 (中略) キリスト・イエスの うちにあるこの思いを、 あなたがたの間でも抱きなさい。

キリストの思い

利己的な思いや虚分のない。

キリストは、 神の御姿であられるのに、 神としてのあり方を 捨てられないとは考えず、

キリストの行動

神としてのあり方を治でる

あなたがたは、 私たちの主イエス・キリストの 恵みを知っています。 すなわち、 主は富んでおられたのに、 あなたがたのために 貧しくなられました。

「あり方」へのこだわりから自由

すべての舌が 「イエス・キリストは主です」 と告白して、 父なる神に 父なる神に 栄光を帰するためです。

謙遜とは 相手にこだわって 自分にこだわらない しなやかで自由な心

Section 1-3

謙遜の特徴二つ目

へりくだって、 互いに人を自分より すぐれた者と思いなさい。 (中略) キリスト・イエスの うちにあるこの思いを、 あなたがたの間でも抱きなさい。

キリストの思い

人を自分より すぐれた者と思う ご自分を空しくして、しもべの姿をとり、

ピリピ2:7

キリストの行動

しもべの姿をとる

さて、過越の祭りの前のこと、 イエスは、この世を去って 父のみもとに行く、 ご自分の時が来たことを 知っておられた。 そして、 世にいるご自分の者たちを 愛してきたイエスは、 彼らを最後まで愛された。

ヨハネ 13:1,4-5

イエスは、 父が万物をご自分の手に 委ねてくださったこと、 またご自分が神から出て、 神に帰ろうとしていることを 知っておられた。 イエスは 夕食の席から立ち上がって、 上着を脱ぎ、 手ぬぐいを取って 腰にまとわれた。

ヨハネ 13:1,3-5

それから、 たらいに水を入れて、 弟子たちの足を洗い、 夢にまとっていた手ぬぐいで ふき始められた。 父よ。 わたしに下さったものについて お願いします。 わたしがいるところに、 彼らもわたしとともに いるようにしてください。

謙遜とは 関係性は 与えられたものだと 理解して 他の人を尊重する心 Section 1-4

謙遜の特徴三つ目

それぞれ、 自分のことだけでなく、 ほかの人のことも顧みなさい。 キリスト・イエスの うちにあるこの思いを、 あなたがたの間でも抱きなさい。

キリストの思い

自分だけでなくほかの人も顧みる

私が、 『主のことばは宣べ伝えない。 もう御名によっては語らない』 と思っても、 主のことばは私の心のうちで、 骨の中に閉じ込められて、 燃えさかる火のようになり、 私は内にしまっておくのに 耐えられません。 もうできません。

エレミヤ 20:9

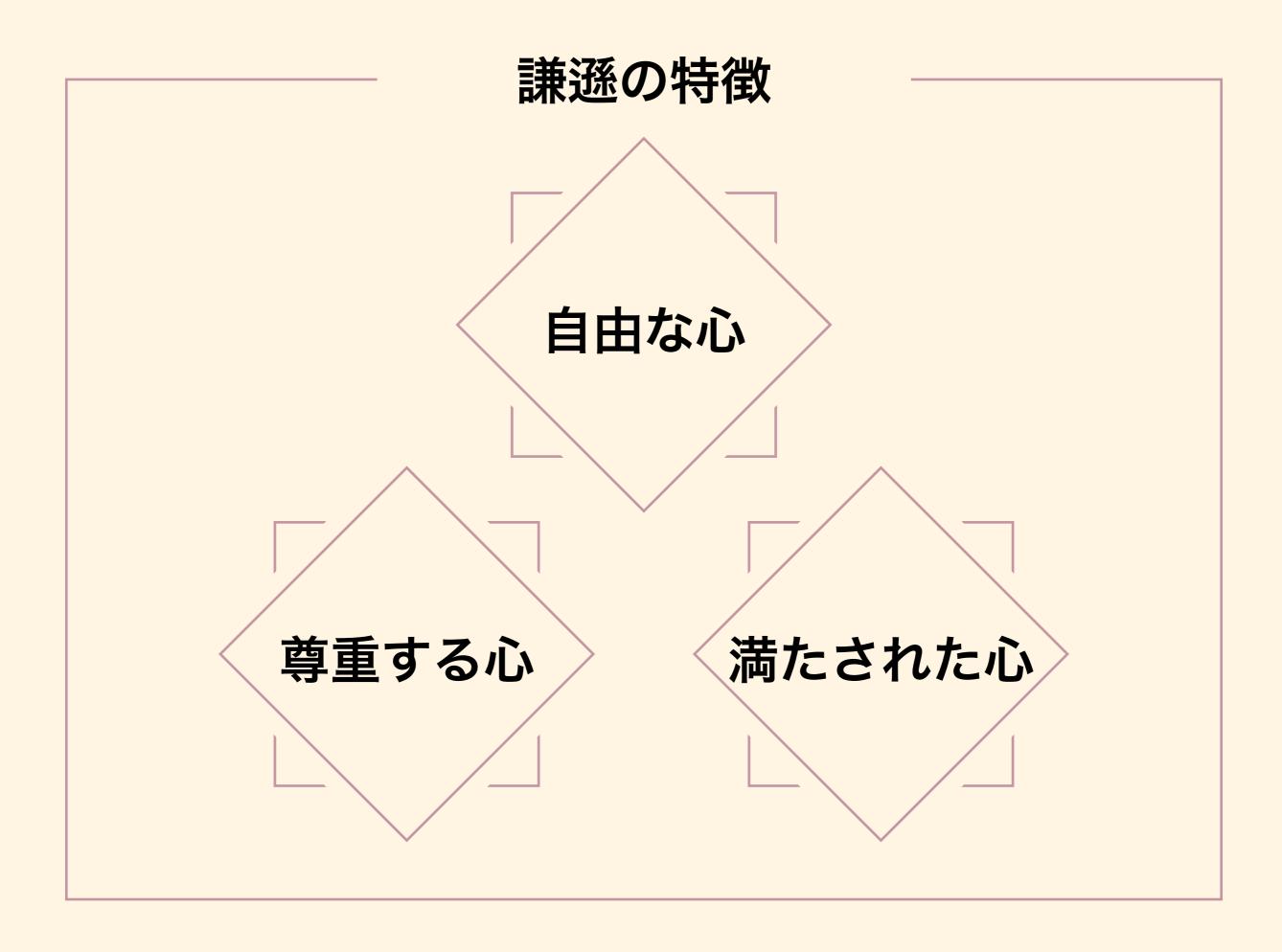
キリストの行動

十字架の死にまで従う

謙遜とは 他の人を顧みる 神の思いで 満たされた心

Section 1-5

謙遜とは何か



謙遜とは 神の主権を認める 訓練された心

神の主権

自分の あり方から 自由

与えられた 関係を 尊重 みことばで 心が 満たされる Section 1-6

第1章のまとめ

謙遜とは 自分に固執しない 自由な心

謙遜とは 与えら関係を 尊重する心

謙遜とは 人を思いる 神の思いで 満たされた心

謙遜とは 神の主権の内に 自分を置く 訓練された心

Chapter 2

謙遜がないとどうなるか

Section 2-1

不一致の問題

ユウオディアに勧め、 シンティケに勧めす。 あなたがたは、 あたがた同じ思いに さってださい。 Section 2-2

謙遜の対極である高慢

人の心の高慢は破滅に先立ち、謙遜は栄誉に先立つ。

あなたの心は 自分の美しさに高ぶり、 まばゆい輝きのために 自分の知恵を腐らせた。

エゼキエル 28:17

高慢は価値を台無しにする

今日のキリスト教界を 苦しめている混乱と争いは、 神学的な論争から 生じたものではないと 私は確信している。 問題は賜物豊かな 指導者たちが、 柔和に振る舞うことを 心がけていないところに あると思う。



多くの教会や 聖徒の集まりにおいて、 一致が乱され、 神のみわざが妨げられている。 それは、 聖徒と見られている人たちが、 短気であり、性急であり、 自己弁護や自己主張にふけり、 厳しく人をさばき、 不親切なことばを発し、



互いに人を 自分よりまさった者とせず、 彼らの聖潔がそのうちに 聖徒の柔和さを、 ほとんどもっていないためでは ないだろうか。

-Andrew Murray

Section 2-3

第2章のまとめ

謙遜の欠落は 群れの一致 兄弟姉妹の一致に 支障をきたす

一致がなければ 群れの働きに 大きな支障を きたす

主を学び謙遜にされた例

Section 3-1

ペテロの例

話が終わるとシモンに言われた。 「深みに漕ぎ出し、 網を下ろして魚を捕りなさい。」 すると、シモンが答えた。 「先生。私たちは 夜通し働きましたが、 何一つ捕れませんでした。 でも、おことばですので、 網を下ろしてみましょう。」 そして、そのとおりにすると、 おびただしい数の魚が入り、 網が破れそうになった。

ルカ 5:4-8

そこで別の舟にいた仲間の者たちに、 助けに来てくれるよう合図した。 彼らがやって来て、 魚を二艘の舟いっぱいに引き上げたところ、 両方とも沈みそうになった。 これを見たシモン・ペテロは、 イエスの足もとにひれ伏して言った。 「主よ、私から離れてください。 私は罪深い人間ですから。」



謙遜が欠如しているのに、 熱心でしかも活動的な信仰が 何と多いか。 すべての外部的な教え、 すべての個人的な努力は、 高慢を克服し、 優しいへりくだった心を もたらすために、 何と無力か。 私たちが真に謙遜になるのは、 神の謙遜を備えておられる キリストの内住によるのであり、 それ以外に道はない。

-Andrew Murray

Section 3-2

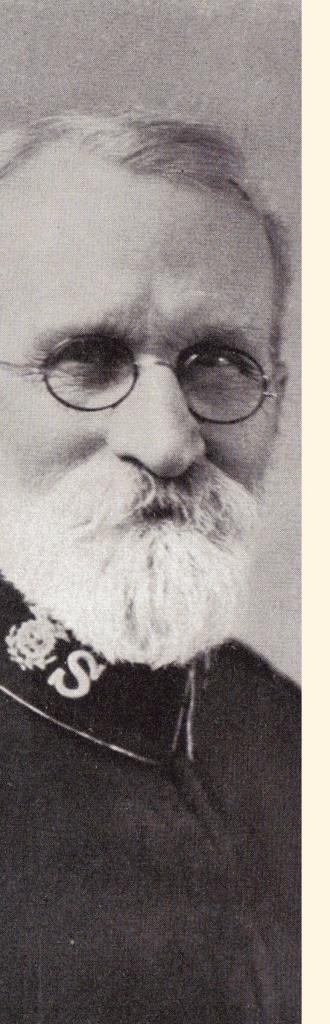
パウロの例

私は使徒の中で 最も小さい者であり、 神の教会を迫害したのですから、 使徒と呼ばれるに値しない者です。 すべての聖徒たちのうちで 最も小さな私に、 この恵みが与えられたのは、 「キリスト・イエスは 罪人を救うために世に来られた」 ということばは真実であり、 そのまま受け入れるに値するものです。 私はその罪人のかしらです。

使徒の中で最も小さい

すべての聖徒たちのうちで最も小さい

罪人のかしら



斧は、自分が切り倒した木を 自慢することはできない。 きこりがいなくては、 斧は何もできないのだ。 きこりが斧を作り、 その刃を研ぎ、 そしてそれを使ったのだ。 きこりが斧を横に放り出した瞬間、 それはただの古鉄でしかなくなる。 ああ、 私が絶対にこのことを 忘れることがないように。

-Samuel Brengle

Section 3-3

第4章のまとめ

主を学ぶことに よって、 聖書が示す 謙遜の性質が 養われる

自分で謙遜になる というよりは 主によって 謙遜にされていく

Whole Summary

全体まとめ

Summary Of Introduction

序論のまとめ

主に似た人とは謙遜人のとと

Chapter 1 Summary

第1章 主に学ぶ謙遜の特徴 のまとめ

謙遜を学ぶには 主を学ぶ 必要がある

Chapter 2 Summary

第2章 謙遜がない どうなるか のまとめ

謙遜を 学ばなければ 高慢になる

Chapter 3 Summary

第3章 主を学び 謙遜にされた例 のまとめ

主を学んだ人は謙遜にされる

EOF

• 参考資料

アンドリュー・マーレー『謙遜』いのちのことば社、1967年
W・ギルモア『全く従う』伝道出版社、1995年
J・オズワルド・サンダース『霊的リーダーとなるために』いのちのことば社、2007年
ウィリアム・マクドナルド『新約聖書注解2』伝道出版社、2006年
ウィリアム・マクドナルド『新約聖書注解シリーズ 新約聖書ハンディー注解』伝道出版社、1998年
ロバート・リー『輪郭的聖書』伝道出版社、1953年
ジン・ジェヒョク『世の中心に立つ霊性リーダーシップ』いのちのことば社、2017年
ティモシー・ケラー『結婚の意味ーわかりあえない2人のために』いのちのことば社、2015年
藤本満『実用聖書注解 マルコの福音書』いのちのことば社、1995年
伊藤明生『実用聖書注解 ピリピ人への手紙』いのちのことば社、1995年
はロ昇『新聖書注解 マルコの福音書』いのちのことば社、1973年
尾山令仁『新聖書注解3 ピリピ人への手紙』いのちのことば社、1972年
鈴木英昭『新聖書講解シリーズ3 ルカの福音書』いのちのことば社、1983年
朝岡茂『新聖書講解シリーズ8 ガラテヤ・エペソ・ピリピ・コロサイ』いのちのことば社、1982年
ウィリアム・バークレー『聖書注解シリーズ11 ピリピ・コロサイ・テサロニケ』ヨルダン社、1969年

• 改版履歴

2016年4月 初版 2017年10月 改版 2019年7月 改版 2019年8月 改版 2019年9月 改版 2019年11月 改版 2019年12月 改版 2020年1月 改版 2020年2月 改版 2020年10月 改版 2020年11月 改版 2020年11月 改版